

# 議会 ながのはらまち だより

2023  
JANUARY  
1  
No.134

12月定例会の内容をお伝えします



表紙：上毛かるた競技長野原町大会（詳しくは23頁）



QRコードから議会  
だよりをダウンロード  
できます

# 12月定例会で こんなことがきました

## ○12月定例会（会期12/6－15）

発議	.....	1件	条例改正	.....	8件
専決処分	.....	1件	補正予算	.....	8件
人事案件	.....	1件	発委	.....	1件
<b>主なものを当より掲載します。</b>			合計	.....	<b>20件</b>

## 12月定例会で 全案件可決・同意・承認

令和4年12月第4回長野原町議会定例会は会期を12月6日から15日までの10日間として、同月6日・15日に本会議を開催しました。

### 全6議案 原案どおり可決

今回開かれた12月議会定例会では、発議1件・人事案件1件・条例改正8件など全議案を原案のとおり可決（同意・承認）しました。

定例会2日目には令和4年度一般会計補正予算や7特別会計の補正予算などの審議が行われ、全議案を原案のとおり可決しました。

また、11月30日までに受理された陳情7件は文書配布および各常任委員会へ付託としました。（関連7ページ）  
なお、一般質問は4名が登壇し、質問を行いました。（関連16ページ〜20ページ）



## ■ 12月定例会で可決した議案一覧

議案番号	議案名	内容	関連	
承認 1号	専決処分の承認	令和4年度一般会計予算を補正するもの	6	
同意 1号	副町長の選任同意	令和5年5月1日付けで梶野寛丈氏（北軽井沢）を副町長に選任同意するもの	4	
発議 1号	議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部改正	議員報酬を平成17年4月の削減前に回復及び人事院勧告を受けて期末手当を引き上げるため条例改正を行うもの	8-9	
議案	1号	職員の給与に関する条例の一部改正	—	
	2号	町長、副町長及び教育長の諸給与条例の一部改正		
	3号	議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正	5	
	4号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定	—	
	5号	職員の定年等に関する条例の一部改正	4	
	6号	ふるさと応援寄附条例の一部改正	—	
	7号	福祉医療費の支給に関する条例の一部改正	5	
	8号	学校設置条例の一部改正	4	
	9号	一般会計補正予算（第7号）	歳入歳出予算の総額に4840万8千円を加え、総額を46億7088万7千円とする	6
	10号	国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出予算の総額に771万6千円を加え、総額を7億3857万8千円とする	
	11号	へき地診療所特別会計補正予算（第2号）	歳入歳出予算の総額に306万5千円を加え、総額を9974万3千円とする	
	12号	簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出予算の総額に156万8千円を加え、総額を1億1734万8千円とする	
	13号	農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出予算の総額に321万3千円を加え、総額を1億349万2千円とする	
	14号	公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	歳入歳出予算の総額に236万9千円を加え、総額を8223万7千円とする	
	15号	介護保険特別会計補正予算（第3号）	歳入歳出予算の総額に108万円を加え、総額を7億200万5千円とする	
	16号	後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出予算の総額から126万3千円を減額し、総額を9814万6千円とする	
発委 1号	安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書の提出	国に意見書を提出する	21	

# 人事案件



梶野 寛丈氏

任期：令和5年5月1日～  
令和9年4月30日

## 副町長に梶野寛丈氏

昨年5月31日で退任された市村敏副町長の後任として、梶野寛丈氏（47歳・北軽井沢）を選任することに同意しました。

梶野氏は、町議会議員として平成31年4月から4年間の任期満了まで務め、5月1日付けで副町長に就任します。

# 条例改正

長野原町職員の定年等に関する条例の一部改正

## 役場職員の定年が60歳から65歳に引き上げ

地方公務員法が改正され、地方公務員の定年が60歳から65歳までに引き上げられたことに伴う改正です。改正後の地方公務員法では、地方公務員の定年の引き上げについては条例で定めるものとされているため、国家公務員のものと同様に、条例改正を行うものです。

### 定年が65歳になるまでの流れ

令和5年4月1日から 令和7年3月31日まで	定年年齢 61歳
令和7年4月1日から 令和9年3月31日まで	62歳
令和9年4月1日から 令和11年3月31日まで	63歳
令和11年4月1日から 令和13年3月31日まで	64歳
令和13年4月1日から 令和15年3月31日まで	65歳

# 条例改正

長野原町立学校設置条例の一部改正

## 東西中学校統合

令和5年4月1日より長野原町の東西中学校の統合に伴い条例改正を行うものです。

### ■町が設置している学校など

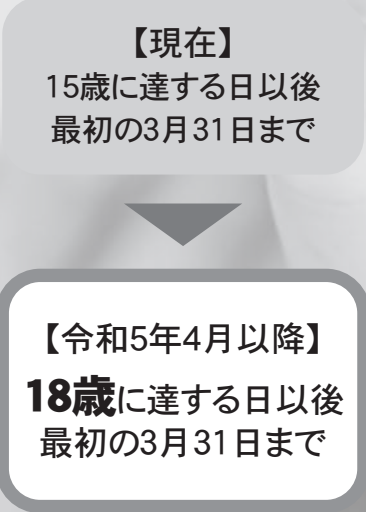
名称	位置
中央小学校	大字大津4番地
応桑小学校	大字応桑20番地の2
北軽井沢小学校	大字北軽井沢1,924番地
長野原中学校	大字長野原1,110番地1
中央こども園	大字大津4番地
応桑こども園	大字応桑19番地の1





## 医療費無料化 高校3年まで拡大

令和5年4月より子ども福祉医療制度の支給対象者を18歳の年度末まで拡大するために改正されました。



### ■支給対象者（令和5年4月以降）

対象者	資格要件
子ども	・出生から高校3年までの子ども
障害のある方	・身体障害者手帳（1級・2級） ・療育手帳（A判定） ・障害者年金受給者（1級） ・特別児童扶養手当（1級） ※令和5年8月より所得制限あり。
ひとり親家庭	・18歳未満の児童を扶養している配偶者のいない母・父とその児童 ※所得税が3万円以下であること。 ※事実上婚姻と同様の事情がある場合は対象外。



## 長野原町議会議員及び長野原町長の選挙における 選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する 条例制定について

公正な選挙を実現するとともに、資産の多少にかかわらず立候補や選挙運動の機会を持てるようにするため、候補者の選挙運動費用の一部について公費で負担する制度が下表のとおり改正されました。

### ■公費負担の対象と基準限度額

公費負担の対象		基準限度額（変更前）	基準限度額（変更後）
選挙運動用自動車	ハイヤー方式	64,500円/日	➡ 変更なし
	自動車の借り入れ	15,800円/日	➡ 16,100円/日
	燃料代	7,560円/日	➡ 7,700円/日
	運転手の雇用	12,500円/日	➡ 変更なし
ポスター作成	選挙運動用ポスターの作成	525円6銭×ポスター掲示場数 +310,500円	➡ 541円31銭×ポスター掲示場数 +316,250円
ビラ作成	選挙運動用ビラの作成	7円51銭/枚	➡ 7円73銭/枚

# 補正 予算

## 光熱水費高騰など

令和4年度一般・特別会計7会計を原案のとおり（下表）可決しました。

### ■特別会計補正予算一覧(12月定例会)

特別会計	補正額	補正後総額
国民健康保険	771万円	7億3857万円
へき地診療所	306万円	9974万円
簡易水道事業	156万円	1億1734万円
農業集落排水事業	321万円	1億349万円
公共下水道事業	236万円	8223万円
介護保険	108万円	7億200万円
後期高齢者医療	△126万円	9814万円

(千円以下切捨)

### 一般会計補正額一覧（千円以下切捨）

#### ■12月定例会（12/15）





一般会計補正予算（第6号）[専決処分]

8040万円増額（計46億2247万円）

一般会計補正予算（第7号）

4840万円増額（計46億7088万円）

### [主な補正内容]

 <p>220万円</p> <p>一般管理事業</p>	 <p>127万円</p> <p>県議会議員選挙事業</p>	 <p>429万円</p> <p>戸籍住民基本台帳費</p>	 <p>473万円</p> <p>各小中学校の管理費</p>
--	---	--	---

### 質疑応答

#### 質疑応答

ふるさと応援寄付金の返礼品などについて

**問** 牧山議員 ふるさと応援寄付金の返礼品の割合と人気返礼品は。

**答** 総務課長 返礼品の割合は3割。ゴルフ場利用券、感謝券が人気となっている。

福祉医療費年齢拡大に伴い増加人数の見込みは

**問** 富澤議員 来年度より子ども福祉医療制度が18歳まで拡大されるが、15歳〜18歳の対象者の見込み人数は。

**答** 町民生活課長 年齢拡大に伴い300人程度増加する見込みである。

町ガイドブックの詳細を

**問** 大羽賀議員 町ガイドブックとはどのようなものを作成する予定か。

**答** 総務課長 町からの補助金の内容、各課の業務や10区の紹介などを載せ毎戸に配布予定。

町営住宅修繕と入居について

**問** 入澤議員 町営住宅修繕費が600万円計上されているが、退去後全てを修繕する必要があるのか。また、入居数と空き数を知りたい。

**答** 建設課長 公営住宅法などに基づき修繕している。長期入居者が退去した場合1戸につき修繕費が100万円かかる場合もある。

また、入居は約100戸、入居募集中が25戸、退去後未修繕のものが20数戸となっている。

# コロナ禍の医療体制充実を図る 国へ意見書提出

# 請願・陳情

11月末日までに受理された陳情については7件の内6件が、12月議会定例会（6日）に所管の常任委員会へ付託され、同日開かれた各常任委員会にて審議されました。審議結果については下表のとおりです。



## ■請願・陳情の審査結果一覧（総務文教常任委員会付託分）

受理番号	件名	提出者	内容	結果
14号	長野原町消防団第9分団詰所公共下水接続工事についての陳情	林区長 篠原 太一	長野原町公共下水事業へ加入するため、詰所の公共下水接続工事を行うもの	採択 (50%補助)
15号	安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情書	群馬県医療労働組合連合会執行委員長 出浦 匠人	国民誰もが安心して医療・介護を利用できるよう国へ意見書の提出を求める陳情	採択 (意見書提出)
20号	通学路自転車ナビマーク設置について	大津区長 富澤 正男	国道292号線に、自転車ナビマークを設置するよう関係機関へ働きかけを求める陳情	採択 (関係機関へ要望)

## ■請願・陳情の審査結果一覧（産業建設常任委員会付託分）

受理番号	件名	提出者	内容	結果
16号	町道拡幅についての陳情	応桑区長 加部 正昭 北軽井沢区長 上谷川 憲一	町道9-42号線JA予冷庫付近の道路拡幅を求めるもの	一部採択 (国道出入口側狭い部は採択、JA予冷庫前は不採択)
17号	溝蓋設置の陳情について	応桑区長 加部 正昭	町道9-31号線の側溝に溝蓋の設置を求めるもの	採択 (年次計画)
18号	町道6-27号線JR大津駅近辺の擁壁等の整備工事について	大津区長 富澤 正男	町道6-27号線の擁壁、道路面の整備及びガードレールの設置を求めるもの	不採択



▲受理番号16号



▲受理番号17号

# 議員 発議

## 議員報酬20%削減前に戻す

長野原町議会の議員報酬改定について

日頃より町民の皆様には、議会に対し格別のご支援ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

令和4年12月定例会において、発議第一号「長野原町議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例制定について」が可決されました。

**経緯**  
議員報酬がなぜ減額されたのか

長野原町は、平成17年3月に「行政改革推進計画」を策定し、行政改革に取り組んでいました。平成17年の単年度実質公債費比率は21・4%と、財政状況は非常に逼迫した状況でした。

議会は「町が行政改革を進めるにあたり、議会としても身を切る改革が必要」との観点から、町より先行して議員報酬と議員定数の削減を決定しました。その後、町も特別職・非常勤特別職などの報酬の削減を決定し、平成17年4月から議員・特別職・非常勤特別職等の報酬が20%削減されました。

**理由**  
減額される続ける理由

当時、郡内はもとより県内でも多くの町村が議員報酬を削減しましたが、ほとんどの町村は「議員報酬の臨時特例に関する条例」を定め期間を限定して減額し、条例で定めた期間を経過した時点で元の額に戻しました。長野原町は、「議員報

**議論**  
交渉の経過

酬の臨時特例に関する条例」を制定せず、20%減額したまま、現在まで17年以上が経過しています。

議員報酬を元に戻すことについては、これまで度々議論されてきました。平成26年9月定例会の一般質問では、その年の4月に就任した萩原町長から「このタイミングでの判断は致しかねる。町民や議員の意見を聞きながら判断したい。重要な件だと認識しているので、建設的な議論をしていきたい。」との答弁がありました。令和元年12月定例会の一般質問では「税金が伸び悩む中、新たな事業を展開する必要がある。經常収支比率も上昇傾向。このような状況下で減額



▲令和元年12月一般質問

前に戻すことは非常に厳しいと考えている。」  
「八ツ場ダムが完成して、交付金も確定し、収支が落ち着いてきた段階、そこが見直すタイミングではないか。」平成17年の議員報酬と議員定数の削減は、議員自ら申し出した。今、議員のみさんの総意で元の報酬に戻すと議会で上げるなら、それを絶対だめだという態度はとれないと思ってる。」このように答弁されました。

**実質公債費比率とは**

⇒借入金（地方債）の返済額及びこれに準じる額の程度を示し、数値が大きいほど、返済の資金繰りが厳しいことを表す

学ぶ 議会改革の  
3本柱



▲議員研修会

議員報酬について、議会としても議員研修会などで度々学んできました。中でも公共政策・地方自治が専門の大正大学社会共生学部公共政策学科の江藤俊昭教授の講演は、何度も聞く機会に恵まれ大変参考になりました。

江藤教授は「行政改革の論理と議会改革の論理は全く異なる。行政改革は削減を優先させ効率性を重視。一方、議会改革は地域民主主義の実現である。」「特別職・非常勤特別職は行政だが、二元代表制の一翼を担う議員・議会は行政ではない。

行政改革の一環でそこを一緒に論じるのは違う。「多様な人材が立候補するためには、ある程度の金額が必要。」  
「17万6千円の壁。この金額を下回ると、無投票の確率が格段に高くなる。ことが実証されている。」などと論じています。

協議 令和4年度の  
町長との協議

このような経緯を踏まえ、今年度当初から議会内で何度も協議を重ね、全議員の総意で12月定例会に議員発議で、条例の改正案を提出することを決定しました。改正案には予算が関係してくるので、町長に申し入れを行い協議してきました。

町長が議員報酬に関する条例を議会に提出する場合は「長野原町特別職報酬等審議会」を設置し諮問する必要がありますが、議員発議の場合は必要ありません。しかし、

議会としても町民のみなさんの意見を聞くべきと考え、町長にお願いして審議会に代えて「協議会」を開催していただきました。



▲発議への賛成意見

なぜ 今やる必要があったのか

賛否両論ある中で、いただいたご意見を尊重しつつ、前述の通り改正案を提出しました。

何故この時期に、という声もあると思いますが、大きな理由の一つは今年4月に議会議員選挙があるからです。

立候補を検討している方の後押しをするためには、3月議会では遅すぎ

ます。今回の条例改正が議員のなり手不足解消の一助になればと考えています。

参考までに、長野原町の現在の議員報酬は16万円、群馬県内23町村中21番目で、議長の報酬は最下位です。減額前に戻しても県内平均には届かず、議員報酬・議長報酬共に16番目です。

尚、前述の理由により、先に議員報酬を減額前に戻しましたが、非常勤特別職などの報酬についても、来年度以降減額前に戻すことを前提に、町長と協議を進めています。

改革 全町民の幸せ  
のために

長野原町議会では、令和3年度から議会改革を進めています。議会の仕組みや働きを知ってもらい、議会に興味をもってもらうために、議会全員協議会の公開や、一般質問のネット配信を行っています。また、町民のみ

なさんの目に一番触れる「議会だより」も、より分かりやすく良いものにするために、広報編集委員会を中心に取り組んでいます。

そして議会改革を進めるために、議会における最高規範として「議会基本条例」の制定を目指しています。全ては「長野原町をより良い町にするために」「全町民の幸せのために」

以上、議員報酬の改定について、その経緯と理由を説明させていただきました。

町民の皆様には、何卒ご理解ご了承のほど心からお願い申し上げます。

長野原町議会議長

黒岩 巧





ワクチン接種



12月全員協議会の様子

## 12月全員協議会の内容を紹介します

### 【報告事項・その他】

○消防団出初め式及び新年交歓会の開催について

新型コロナウイルス感染症対策のもと、令和5年1月6日(金)令和5年消防団出初め式を午前10時から八ッ場屋内運動場で開催予定。また、出初め式終了後、@長野原(住民総合センター)において新年交歓会を開催する予定と説明を受けました。

○個人情報保護法改正に伴う、長野原町関連条例等改正について

個人情報保護法関連の改正に伴い、全国的な共通ルールを規定し、個人情報保護の定義の一元化をするなど大幅な制度変更が行われ、当町も改正に向け準備を進めていると説明を受けました。

○西吾妻福祉病院の経過について

外来及び入院病床利用者数について資料が配布されました。

○新型コロナウイルス感染症に対する対応について

ワクチン接種状況について説明を受けました。

### 質疑応答

町内の感染者の推移は

### 問

浅沼議員 県内の感染者数が増加し、第8波と言われているが、当町の感染状況と推移は。

### 答

町民生活課長 医療機関や保健所の負担軽減のため、全数把握がされなくなりましたが、情報が入ってこないが、

老人ホームや学校での感染情報は入ってきているので、感染拡大しないよう努めていく。

○教育委員会の点検・評価について

教育委員会が、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果報告を受けました。

○令和5年長野原町二十歳の集いについて

成人年齢が18歳に引き下げられたため、これまでの成人式を二十歳の集いに名称を改め1月8日(日)に開催すると報告を受けました。





長野原中学校の制服や体操着など



マイナンバーカード

**○マイナンバーカード普及促進事業の経過について**

マイナンバーカード取得率が県内トップ。現在地方創生臨時交付金を活用し、商品券を2万円分交付する事業が12月末で終了となるため、事業の補完と更なる取得率向上を目指して、1月以降は補助金を活用して5千円分のクオカードを交付していくと説明を受けました。

**質疑応答**

**保険証利用などの普及状況は**

**問** 大羽賀議員 マイナンバーカードの保険証利用申込の普及状況は、

**答** 町民生活課長 把握は難しい。病院でもマイナンバーカードを持って受診した際に保

険証として利用できるように機能を付与してくれる。また、マイナ保険証で受診したほうが、医療費が若干安くなる。

**マイナ保険証が使用できる町内の病院と薬局は**

**問** 浅井議員 マイナ保険証で受診できる町内の病院と薬局は、

**答** 町民生活課長 町内の病院は使用できないが、令和5年4月以降には導入される。わかり次第周知していく。

**○中学校入学準備補助について**

東西中学校の統合により制服や体操着などを揃えるために約8万円程かかるため、商工会が発行する商品券を一人4万円

分支給すると説明を受けました。

**質疑応答**

**現在の小学校6年生が対象か**

**問** 浅井議員 現在の小学校6年生が対象か。中学校1、2年生はどうなるのか。

**答** 教育長 現在の小学校6年生が対象。中学校1、2年生については現在の制服、体操着を使用するようお願いした。

**継続されるのか**

**問** 星河議員 補助金は毎年継続するのかわか。入学時1回のみか。

**答** 教育長 継続したい。入学時1回のみが良いと考えている。

議会行政視察を11月10日～11日（1泊2日）に実施し、初日に長野県飯綱町の議会改革について視察を行いました。

同町は長野県北部に位置し、平成17年10月牟礼村と三水村の2村の合併により誕生。面積は75km<sup>2</sup>、人口1万565人（令和4年10月31日現在）の町です。西・南は長野市、北は信濃町、東は中野市に隣接し、飯綱山から斑尾山までの穏やかな丘陵地です。

## 議会力を向上させ 町長と切磋琢磨する議会へ

### 概要 議会改革の3本柱

- ① 飯綱町は平成20年1月に住民に信頼される新しい地方議会を目指し、議会改革を開始しました。
- ② ① 追任機関から脱し、議会の権限を発揮し、役割を果たすこと。つまり、議会が独立した議決機関として機能すること。
- ③ 「チーム議会」として政策力を向上させ、住民福祉の充実、新しい地域づくりで、町長と「善政競争」を進めること。
- ④ 議会への住民参加を推進し、住民自治意識を高め、議会・議員活動を「見える化」し、住

民自治の裾野を広げる  
こと。

### 取組 議会基本条例の 制定

- ① 町民に信頼される議会を目指し、8項目の議会改革を宣言して、平成20年9月議会から実践しました。
- ② ① 一般質問に一問一答方式を導入、町長には反問権を認める。
- ③ 町民に対して議会の議決責任と説明責任を果たす。
- ④ 議会への住民参加を広げる。
- ⑤ 議会の情報公開をさらに進める。
- ⑥ 議員の資質向上に努め、議員同士の自由討議を活発に行う。



視察レポート  
おおはがすすむ  
大羽賀 進 議員

議会改革の先進地・長野県飯綱町へ訪問しました。役場の玄関先で議長さん他6名の方々に出迎えて頂き議場で事前通告の質問を中心に丁寧な回答を頂きました。

飯綱町は平成17年、牟礼村、三水村が合併し誕生しました。合併後諸問題が発生し財政危機に陥る事態となり、議会の責任の重さを痛烈に感じ、これを機に議会改革に取り組み、平成24年9月25日に議会基本条例を制定しました。

町民と共に築く町を目指して議会基本条例を指針に議会活動を広く展開しています。特に成果を上げているのが政策サポーター制度であり、この制度は、裁判員制度や検察審査会の行政バージョンとも言えます。つまり、一般住民に実際の政策立案に参加してもらい、住民と共に町づくりができることです。

今回の飯綱町の研修で得たことは、議会改革は議員個人の改革であり、住民の意識の改革でもあると結論致しました。



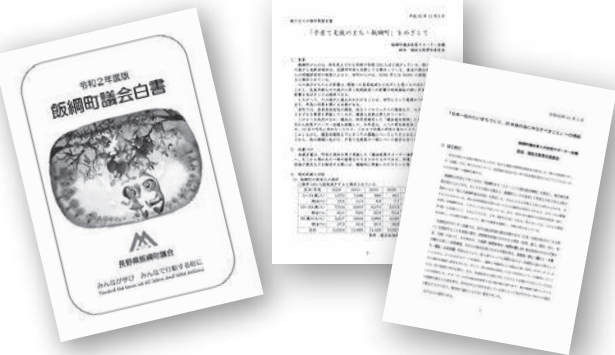
▲ 飯綱町議会議員のみなさんと



▲ 黒岩議長のあいさつ



▲ 意見交換の様子



▲ 議会基本条例に基づく飯綱町の取組

- ⑥ 議員の政策立案能力を高め、政策提言、条例制定などに取り組む。
  - ⑦ 行政への批判と監視機能を一層強化する。
  - ⑧ 政務調査費を条例化し、政策研究、町民への広報活動等に活用する。
- 平成24年9月定例会で4年余りの議会改革実践の成果も踏まえ、「議会基本条例」を制定し、さらに新しい地方議会作りを目指して取り組んでいます。
- ・「町民と議会との懇談会」など、町民参加の推進（第6条）
  - ・政策サポーター制度（第7条）

- ・災害等への対応（第9条）
  - ・議会白書、議会の自己評価（第16条）
  - ・議長、副議長志願者の所信表明（第18条）
- 取組**  
議会改革10年実績で明らかになったこと
- ① 議会改革は議員の意識改革であり、首長の追認機関か、首長と切磋琢磨する議会か。
  - ② 一過性や単発的取組では不十分で、持続的に改革を実践し、活動を定着させ、新たなしくみをつくる。

- ③ 新人議員の定期的研修会による議会力の継続性の追求。
- ④ 議長選挙から始まる議会改革。議長選挙マニフェストを発表し、議論。
- ⑤ 今日の到達点は、議会力は向上している。しかし、議員力向上は今後の課題。
- ⑥ 住民の評価の変化。「反映されている、ある程度反映されている」19%から65%に向上した。

**基本条例とは**  
⇒議会活動の理念、原則、制度などの基本的な事項を定める条例のこと



議会行政視察2日目には同県の安曇野市を視察しました。

同市は長野県のほぼ中央部に位置し、松本から電車で約10～30分のところにあり、面積331.78km<sup>2</sup>、人口9万6659人（令和4年4月1日現在）の市です。平成17年10月に、豊科町・穂高町・三郷村・堀金村・明科町の5町村が合併し誕生しました。

# 行政視察

長野県安曇野市

## デマンド交通 「あづみん」



**概要**  
「あづみん」が誕生するまで

安曇野市では、合併当初ごく一部の路線を除いて旧町村をまたいだ民間の路線が廃止されてお

り、旧町村単位で運行していた交通体系を継続していきました。しかし、旧町村間での乗り継ぎができないなど連携がとれなかつたり、その不便さから利用者が低迷するなどの実態がありました。

そのため、市として交通体系を再構築し、地域間の交流や連携を図るため一体感のある新たな公

安曇野市では、合併当初ごく一部の路線を除いて旧町村をまたいだ民間の路線が廃止されており、旧町村単位で運行していた交通体系を継続していきました。しかし、旧町村間での乗り継ぎができないなど連携がとれなかつたり、その不便さから利用者が低迷するなどの実態がありました。

そのため、市として交通体系を再構築し、地域間の交流や連携を図るため一体感のある新たな公

運行 運行形態

デマンド交通（乗り合いタクシー）と定時定路線を運行しています。運行日は平日のみで、土日、祝日及び年末年始等は運休します。デマンド交通（乗り合いタクシー）は、予約が必要で、大人1回300円（定期券無し）。定時定路線は、通勤通学を目的とし、朝晩の運行に特化しており、通勤通学用定期券の販売もあります。

評価 利用者の評価

- 良い点
  - ・ 自宅から目的地まで送迎してもらえる。
  - ・ 乗車料金が安い。
  - ・ 予約が簡単。
  - 悪い点
    - ・ 休日に運行していない。
    - ・ 目的地まで乗り継ぎが必要。
    - ・ 送迎時間が定まらず、待ち時間が長い。
    - ・ 予約がすぐいっぱいになってしまう。
    - ・ 決まった時間、場所で乗車できない。

今後 課題解消へ

自動車運転免許返納など移動手段の転換により、デマンド交通利用者の増加が見込まれ、現状サービスの充実とより利用しやすい仕組みの導入が求められています。このような中、現状の課題解決に向けて、乗車範囲の制限（乗り継ぎ）、運行日を緩和するため、デマンド車両の増便や隣接エリア間の移動及び休日運行用として充実を図るため検討しています。



▲ 黒岩議長のあいさつ



▲あづみんのリーフレット



視察レポート  
梶野 寛丈 議員

デマンド交通とは？デマンドⅡ要求と言う意味で路線定期型交通とは違い、利用者のニーズに対して柔軟に運行する公共交通システムのことを言います。

人口減少や少子高齢化が進む過疎地域、マイカー普及率が高く路線バスの利用者が少ない中山間地域などで住民の生活に欠かせない足をどう確保するかは長野原町にとっても重要な課題です。

安曇野市は約14年前から検討を開始し現在に至ります。コロナ禍で減少傾向はあるものの利用者は平均して約10万人（人口約9万6千人）、利用方法は電話予約のみで、利用者の約6割が高齢者で、目的は買い物、通院が多いそうです。

今後の課題は、ニーズが多い土日の営業、乗車範囲の制限を緩和し乗り継ぎを減らすなどです。

また、スマートフォンなどで予約状況が確認できるようにすることです。

日本全国多くの自治体が同様の課題を抱え、住民生活の足の確保に様々な取り組みを行っています。

更に高齢化が進み、免許返納後の生活の足としても需要が高まるデマンド交通のニーズにどう対応していくか？地域の特性、住民のニーズを十分に理解し、構築していくことが求められます。

学校統合に伴う送迎バスや各家庭での高校生の送迎、福祉バス、また、ハッ場ダムの回遊バスなど生活や福祉、観光等の複合的な課題解決が期待されています。

議会は安曇野市、その他の事例を参考に住民の声を聞き、行政と力を合わせ独自の取り組みを進めていく所存です。

# 一般質問 町の考えを問う

おおはが すすむ

**大羽賀進 議員 (17歳)**

・地方創生について

あさぬまかつゆき

**浅沼克行 議員 (18歳)**

・水道インフラの老朽化の  
対応について

ほしかわあきひこ

**星河明彦 議員 (19歳)**

・ハッ場ダム完成後の諸問題に対応  
するための行政窓口と役割について

まきやま あきら

**牧山 明 議員 (20歳)**

・酪農家の経営存続にあたたかい  
理解と最大限の支援を

YouTubeで一般質問の様子を  
ご覧いただけます



一般質問とは。議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をただすこと。報告や説明を求めることです。

12月定例会では4人の議員が登壇し、地方創生や水道インフラなどについて質問を行いました。

ここでは、質問と答えを要約した内容（17歳から20歳）をお知らせします。



おおはが すすむ  
大羽賀 進 議員



## 地方創生について

### 明るく活力ある町づくりを 実現する

**問**

2021年の出生率が過去最少を記録し、少子化に歯止めがかからない状態である。この問題を放置すれば消滅する町に成る。地方創生の重要な役割である出生率を高めるための町の施策を伺いたい。

**答**

町長 若い世代が、安心して結婚ができる、子どもを産み育てるためには、家庭・子育てと仕事が両立しやすい環境や、経済的な安定が得られる就業・生活環境であることがポイントである。また、長野原町が多くの人にとって住み続けたい、戻ってきたいと思える魅力や文化であったり、支え合いのコミュニティづくりによる安心感を持つことができることも重

要であると考えている。

具体的な取り組みとしては、今年度の施政方針で掲げている8つの目標のほぼ全てに関連し、明るく活力ある町づくりを実現するために、引き続き8つの目標の達成を目指していくことで、出生率向上などにより、地方創生を目指していく。

**問**

20年以上デフレが続き、夢も希望も失われた時代に育った子供たちが、所帯を持って生活していくこととならない。こんな給料では生活できない、結婚しても子供は1人で良い、2人、3人なんて考えられないという時代である。町独自の支援策を考えるともらいたい。

**答**

町長 私が町長に就任以後、出生児1人10万円を給付する事業を新設、給食費の無料化、また、来年度からは18歳までの医療費は無料や中学校入学準備のために4万円分の商品券の配布など支援を増やしてきた。

現在、結婚しない男女が多くいるので、まずは結婚をするための支援が一番必要と考えている。

また、不妊治療の補助として最高で10万円を出しているが、治療が高額になるので、手厚い支援を考えていくことも必要。町の財政状況を見ながら支援策を考えたい。

**問**

結婚しない人、できない人など、いろいろな方がいる。結婚・妊娠・出産から社会に巣立つまで切れ目なく支える支援策をお願いしたい。

**答**

町長 教育長の熱い思いで実現している「のびのび広場」と「ここはび」は多くの方に来ていただき、反響を呼んでいる。お母さん方の居場所づくりやのびのび子育てができる場所を提供しているところでは、良いスタートが切れた。しかしコロナ感染拡大に伴い休止という判断をした。



出産から生涯にかけて切れ目のない支援を行うことは財政的に難しい部分もあるが、小さなところから一つ一つ改善をしていくことが大切だと思う。町民の皆さんの声を聞きながら、良い形で一歩でも進めるように取り組んでいく。



# 水道インフラの老朽化の対応について



あさぬま かつゆき  
**浅沼 克行 議員**

## 安全で良質な水道水を供給していく

**問** 水道インフラの老朽化が全国的に深刻化しているが、当町の現状と今後の取り組み方について伺いたい。

**答**

町長 議員ご指摘のとおり水道インフラの老朽化については全国的に深刻化している状況であると共に当町においても、町水道事業経営戦略で示したように給水区域によっては配水施設、管路の老朽化が進んでいる状況である。今後は、耐震化、財源確保も含めた更新計画を策定し、計画的な整備を進めて行く考えである。水道事業の広域化や官民連携、施設や管路の統廃合も今後の課題だが、「安全で良質な水道の供給」を基本

理念に、将来にわたり水道水を安定的に供給し、安定した経営基盤を持続して行きたいと考えている。

**問**

水道管は耐用年数がある。地域差はあると思うが、耐用年数が経過している管路の割合はどのくらいか。

**答**

町長 各地区の簡易水道組合で運営されていたものが、平成初期に町に移管された。その時に経営的な戦略を立て事業を実施すべきだったと思うが、壊れたところを補修するだけの町であったために、今の状況になっている。

しかし、ようやく経営戦略を立て補修の計画を立てていこうと動き出した。今から何ができるかを考え取り組んでいく。現在ある管路を全て敷設換えをしたら約250億円かかる。壊れる頻度の高いエリアを優先的に調査するなど、資金計画

を立て取り組んでいくしかないと考えている。また、水道料金については、各自治体で水道料金を上げる決断をしているが当町も同様の状況にならないよう努力していく。

**問**

町の財源で、急激に敷設工事をすることはできないと感じた。昨今、最新のテクノロジーを活用するなど事業の効率化と経費削減に努めていただきたい。

また、水道インフラの重要性を意識し、対応に当たってほしい。

**答**

町長 水道事業は、今後の財政運営にボディブローのように効いてくる事業の一つなので、どうにもならない状況になる前に、手を打っていき





ほしかわ あきひこ  
**星河 明彦 議員**

## ハツ場ダム完成後の諸問題に対応するための行政窓口と役割について

### 関係機関への要望や連絡調整を行い連携しながら対応する

**問**

①林の地区内に点在するダム工事に伴う仮設物の対応について国土交通省に林区で要望を行っているが、遅々として進まない。

今年度、区長が国土交通省、県対策事務所および町に連絡を取り計画書が提出されたが、地区の区長が直接国・県へと個々に連絡を取り対応を行うことが正しいのか。

本来は、町担当部署が窓口となり、国・県へ要望するとともに進捗確認などを行うべきではないか。

②ハツ場ふるさと公園は小さなお子様が遊ぶ場所だが、駐車場奥のカヌー受付場所の奥は湖側にフェンスが無く、ロープが張ってあるだけ。子どもが簡単に通り抜け湖

に落下する可能性があるので、安全対策を早急に対応をお願いしたい。

**答**

町長 ①ハツ場ダム事業は、特殊事情であることから国・

県・町の担当者がそれぞれ対応していた経緯がある。しかし、ダム事業が終了した現在は、議員のご指摘のとおり、町担当部署が窓口となるべきである。

関係機関への要望や連絡調整を行い責任を持って進捗などを確認していく。

②現在、駐車場側の入口に立ち入り禁止表示をしたうえで単管バリケードを設置し、湖面ツアー事業者の営業時間以外は施錠している。まずは、危険であることの周知や劣化などあれば直ちに更

新でできるよう、管理委託先のつなぐカンパニーなのはらや湖面ツアー事業者とも連絡を密に行い実施していく。

当該箇所の安全管理については、河川区域であるため、関係機関と連携しながら対応していく。

**問**

①町の組織として、担当が欠席するとわかる人がいない、誰に伝えたら良いかわからないという意見が町民からでない組織作りをしていただきたい。

②単管バリケードの仮置きが続いている。とりあえずの対応ではなく恒久的な対策をとっていただきたい。子どもは短管バリケードを簡単にくぐり抜けることができ、ちよつと目を離したら姿が見えなくなってしまうので、ハツ場ふるさと公園の安全対策は優先順位を上げて早急をお願いしたい。

**答**

町長 ①職員がチームとして、頑張っている。新副町長就任後は新たなチームを再構築していきたい。

②カヌー、カヤックが置いてあるところの手前に町の単費でフェンスを作成予定である。





# 酪農家の経営存続にあたたかい理解と最大限の支援を



まきやま あきら  
牧山 明 議員

## 酪農地消の環境整備に取り組む

**問**

コロナ感染の拡大とロシアのウクライナ侵攻で飼料、肥料などの生産財が高騰して全国で酪農家の離農が加速している。

春まで持つのか、不安な毎日を送っている。

子育て中の家庭、規模拡大、住宅ローンなどで返済を月々負っている酪農家はとても深刻である。生産者団体を通じ国に様々な支援を要請しているが、思うように進まない。酪農経営の存続にあたたかい理解と可能な限りの経済的支援をお願いしたい。

**答**

町長 生産資材を海外に依存する日本の経営形態では、リスクが顕在化し、改善のた



めの抜本的な見直しが必要と思う。農業に限らず、この秋までに食品など二万点を超える値上げが実施され、低所得者や化石燃料を利用する事業者には、多大な負担となっている。

飼料、肥料の高騰対策は、国、県で価格の増加分を一部支援金として交付し、乳価においては、

引き上げ改定されている。全業種で価格高騰の影響を受けている中、限られた財源を平等に支援することは非常に難しいと考える。

将来求められる持続可能な農業の実現のために、酪農地消の環境整備に取り組んでいく。

**問**

餌（乳牛用配合飼料やミルク・安定基金のない粗飼料）の値上がりは2020年12月と比べ現在は約2倍になっている。

餌関連の生産コストが21円増えているにもかかわらず、乳価を1キロ当たり10円の値上げで決着した。再値上げの交渉をしようにも需給均衡や脱脂粉乳などの在庫解消の課題があり難しい。

酪農家の対外的交渉や経済支援についても後押しをお願いしたい。

**答**

町長 我が町の酪農は、長年にわたって基幹産業として町を支えてきた。その酪農には若い担い手があり、すごく頑張っている。今踏ん張れば10年後20年後には、牛乳が長野原町の宝になると信じているが、現状は非常に厳しい。

町長として国や県へ要望活動をしてきたが、議会としても国や県へ要望活動を行っていただきたい。酪農家の方達にも同行していただき、現場の声を直接届けたい。

値上げによる需給への影響も危惧される。牛乳離れが深刻化するなか、牛乳のすばらしさと牛乳がなくなるなどのようになるのかを発信していく。一番の打撃は、飼料の高騰だと思う。町としても何ができるのか再検討させていただきたい。



## 国へ意見書の提出

安全・安心の医療・介護実現のため  
人員増と処遇改善を求める意見書

町議会では、意見書を関係行政機関に提出することができます。12月定例会では、発委（総務文教常任委員会）による下記の意見書を内閣総理大臣などへ提出しました。

医療・介護職の人手不足が長年続いている状況を解消するためには、OECD平均以下の看護師の賃金収入など、ケア労働者の処遇改善は待ったなしの状況にあり、16時間を連続で働き続けなくてはならない過酷な長時間夜勤や、勤務と勤務の寝る間もない極端に短い間隔などを解消するために、労働時間規制を含めた実効ある対策は、猶予できない喫緊の課題です。

私たちは、安全・安心の医療・介護の実現のために下記の事項について国に要望します。

### 記

1. 安全・安心の医療・介護を実現するため、医師・看護師・介護職員などの配置基準を抜本的に見直し、大幅に増員すること。また、安定した人員確保のためにも、ケア労働者の賃上げを支援すること。
2. 医療や介護現場における「夜勤交替制労働」に関わる労働環境を抜本的に改善すること。
  - ①労働時間の上限規制や勤務間インターバル確保、夜勤回数の制限など、労働環境改善のための規制を設け、実効性を確保するための財政的支援を行うこと。
  - ②夜勤交替制労働者の週労働時間を短縮すること。
  - ③介護施設や有床診療所などで行われている「1人夜勤体制」をなくし、複数夜勤体制とすること。

以上、地方自治法99条の規定により意見書を提出いたします。

## あなたも議会を傍聴しませんか

次回定例会

3月

2日(木)

9日(木)

16日(木)

※発行日現在の予定

2月議会  
臨時会

15日(水)

議会定例・臨時会の様子はどなたでも傍聴することができます。

傍聴される方は、議会開催日に直接議場までお越しください。受付簿に氏名など必須事項を記入の上、傍聴してください。予約は不要で会議中の入退室も自由です。

※傍聴の際は、新型コロナウイルス感染症予防のため、マスクの着用、手指の消毒、検温のご協力をお願いします。

令和4年  
11月1日

## 群馬県町村議員研修会

場所：吉岡町文化センター

11月1日（火）、吉岡町文化センターにおいて群馬県町村議会議長会主催の議員研修会が開催されました。

新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの開催となりましたが、県内各町村の議会議員が参加し、講師にお招きした江藤俊昭氏と南利幸氏による各講演に熱心に耳を傾けました。



▲全議員で参加



▲『議員報酬・政務活動費の充実にに向けた論点と手続き』  
～住民福祉の向上を実現する町村議会のための条件整備

講師：大正大学社会共生学部公共政策学科  
教授 江藤 俊昭 氏



▲『気候変動・異常気象とこれからの防災・減災対策』

講師：気象予報士・防災士  
南 利幸 氏

令和4年  
11月24日

## 群馬県町村議会広報研修会

場所：群馬県市町村会館

議会広報の基本と編集

講師 議会広報サポーター  
芳野 政明氏

県内町村議会議員を対象とした広報研修会が11月24日（木）に群馬県市町村会館（前橋市）を会場に開催され、本町議会広報編集委員が参加しました。

講師には、議会広報サポーターの芳野政明氏を迎え、「住民に読まれ、伝わり、議会の見える化へ」と題した講演が行われました。

今後、この研修の成果を生かし、読みやすい紙面、町民に親しまれる議会だよりの編集に取り組んでいきます。



▲3名の議員が研修を受講している様子

## 議会の主な活動

議員や議会は何してるの？という声を聞きます。ここでは、議員や議会の主な活動状況をお知らせします。

10月

- 5日 戦没者追悼式
- 11日 第6回北軽井沢連絡会議
- 12日 吾妻地区産業安全衛生大会
- 16日 長野原町消防団秋季点検
- 20日 草津ウェストパーク最終処分場現地視察
- 21日 西中学校 校内文化祭
- 27日 東中学校 校内文化祭
- 27日 群馬県町村議会議長会理事会
- 31日 学校統合準備委員会

12月

- 6日 長野原町議会全員協議会  
令和4年12月第4回長野原町議会定例会
- 14日 応桑こども園生活発表会
- 15日 令和4年12月第4回長野原町議会定例会（2日目）
- 20日 2組合議会（環境衛生施設組合・西吾妻福祉病院組合）
- 22日 西吾妻福祉病院組合例月出納検査
- 26日 日本ジオパーク関東大会  
第4回実行委員会

11月

- 4日 中央小学校学習発表会
- 7日 長野原町ガイドブックに係るプロポーザル審査委員会
- 8日 浅間牧場活性化委員会  
第7回北軽井沢連絡会議
- 9日 群馬県町村議会議長会臨時総会  
第66回町村議会議長全国大会  
高齢者教室閉講式  
東三河広域連合 視察
- 10～11日 議会行政視察
- 15日 一般社団法人全国過疎地域連盟総会（書面表決）
- 16日 一般社団法人日本造園建設協会  
関東甲信総支部  
令和4年度「本部との交流会」
- 19日 第22回長野原町青少年健全育成の集い・人権講演会・PTA講演会
- 21日 長野原町社会福祉協議会理事会
- 22日 埼玉県日高市 視察
- 24日 第44回長野原町老人ゲートボール大会
- 25日 吾妻広域町村圏振興整備組合第2回臨時会
- 29日 長野原町表彰審査委員会  
議会運営委員会

1月

- 6日 町消防団出初め式  
長野原町新年交歓会  
上毛新聞社新年交歓会
- 8日 二十歳の集い
- 12日 広報編集委員会
- 19日 群馬県町村議会議長会理事会

2月

- 1日 議会運営委員会
- 14日 群馬県町村議会議長会定期総会
- 15日 長野原町議会全員協議会  
令和5年2月第1回長野原町議会臨時会

### 表紙の写真

1月5日（木）@長野原（住民総合センター）大ホールを会場に上毛かるた競技長野原町大会が開催され、管内小学校より参加した児童が熱戦を繰り広げました。

## 仕事はじめの行事

令和5年長野原町新年交歓会及び  
消防団出初め式は  
新型コロナウイルス感染防止対策のもと  
下記のとおり開催されました。

### 長野原町新年交歓会

1月6日（金）@長野原（住民総合センター）大ホールを会場に新年交歓会が開催されました。

町政の発展などに貢献してこられた方の功績をたたえ、町功労者として牧山明さん、善行者として篠原今朝男さんが表彰されました。



### 長野原町消防団出初め式



1月6日（金）ハッ場屋内運動場（横壁）を会場に消防団出初め式が行われました。

式典後は長野原(1)分団・大津(2)分団による放水試験が行われました。今年は、会場を屋内運動場からハッ場屋内運動場に移したことにより、湖への放水試験となりました。

### 編集後記

明けましておめでとう  
ございます。

昨年は、新型コロナウイルス、ウクライナ紛争、円安による物価の高騰など、様々な不安に翻弄された年でした。そんな今こそ変化、チャレンジの時と捉えたい。

我が町の未来へ希望を抱き、より良い未来、次の世代へしっかりと繋いでいきたいと思うのです。

議会は、今期で4年の任期を終え、新たなチャレンジの時を迎えます。新しい年が皆様にとって希望多きより良い年となりますように、議員一同祈念申し上げます。

H・K

#### ◎広報委員

委員長	大羽賀進
委員	牧山明
	萩原宗仁
	梶野寛丈